

くしろ 市議会だより



議会日程

2/23	議会運営委員会
2月定例会 (会期26日間)	
2/27	市政方針/教育行政方針/ 提案説明
3/5、6、9	各会派代表質問
3/9~12	質疑・一般質問
3/12	委員会審査 (補正予算等先議分)
3/13	委員会採決 (補正予算等先議分) 委員会審査
3/16	委員長報告/本会議採決 (補正予算等先議分)
3/16~19	委員会審査
3/23	委員会採決
3/24	委員長報告/討論/ 本会議採決

市長から、愛国浄水場の更新について、将来とも安心・安全な水道水を提供する観点から、浄水方式は「膜ろ過方式」、建設場所は、工事中の断水リスクが回避でき、別地に比べ建設費の安価な一現地での更新が最適と判断した。このことから、浄水実証実験推進費などを計上し、更新事業の推進を図っていくとの報告がありました。

この報告を受けて、本会議及び委員会で論議がありました。

本会議では、約150億円と試算されている事業費を圧縮するための方策について質問がありました。

市長は、浄水場の機能を確保した上で、いかに事業費を縮減していくかが重要な視点である。民間の発想などを導入する観点も重要であり、性能発注による方式や、事業の資金調達は自治体で行い、工事の設計、施工と浄水場の運転管理を民間企業で行う方式など幅

広く検討していきたいと答えました。

委員会では、浄水処理の実証実験などの内容や今後のスケジュールについて質問がありました。

理事者は、釧路川の原水に適合する膜の確認及び前・後処理を含めた、浄水フロア全体の実証実験を行うための計画書作成に約360万円、配水池の移設に係る基本計画策定費用に約1千800万円を予定している。今後、4月に計画書の作成業務を発注し、8月をめどに実験方法等を確定した後、参加者を公募し、12月または来年1月には実験を開始する予定である。

また、浄水フロアの確認や評価は、開始後1年間の実証実験データなどをもとに、水質や浄水処理技術について学識経験を有する外部の有識者や、市職員で構成する委員会を設置し、検討していくことになるかと答えました。

愛国浄水場の更新方法決定

2月定例会では、新年度予算案や議員期末手当の独自削減条例、医療提供体制の拡充に関する意見書などを原案どおり可決しました。

本会議及び委員会では、愛国浄水場更新計画、雇用対策、ドクターヘリの運航内容、交流プラザさいわいの改築などについて論議がありました。

…：現地での膜ろ過方式導入へ実験開始…

※膜ろ過方式とは、有機または無機質の膜に空いた小さい孔径で水をろ過でき、集団下痢症などの原因となるクリプトスポリジウム等を確実に除去できる。

公明党議員団

月田 光明 議員

※ MICE誘致活動の強化に向け
情報のデータベース制作へ

- 問** 「誘致」や「交流」を戦略的に進めていくため、各種団体情報等をデータベース化すべきでないか。
- 答** 豊かな自然を保有する市の特性を踏まえた集中的アプローチを実施するため、必要な情報の選択とデータベース制作に取り組むたい。
- 問** 学校の耐震改修時には、太陽光発電の導入を原則とすべきでないか。
- 答** 財政状況も見きわめながら、学校施設の大規模改造事業にあわせて検討していきたい。
- 問** 中心市街地のにぎわい創出のために、事業所等で社会教育施設の収蔵品を活用できないか。
- 答** 展示可能な収蔵品の確認や管理方法等について教育委員会と協議するとともに、展示協力いただける事業所等の状況を調査し、活用が可能かどうか検討したい。
- 問** 採算を割った生活交通バス路線の、運行維持に対する補助を継続すべきでないか。
- 答** 国や道が定める補助金交付要綱による市の応分負担、及び市単独の補助金交付により、支援を継続したい。



市民の生活交通として利用されている路線バス

- 問** ドクターヘリ運航前に、当市から100キロメートル圏内の十勝・北網圏との協議が必要でないか。
- 答** 患者の受け入れ、医師派遣、財政負担等の課題があることから、今後、道を窓口として関係地域と協議したい。
- 問** 新年度導入予定の高額医療・高額介護合算制度について、丁寧な周知と案内が必要でないか。
- 答** 庁内関係部署が相互に連携し、広報誌等で周知・案内に努めるほか、介護サービス事業所や医療機関を通じて本制度を周知していきたい。

市民連合議員団

酒巻 勝美 議員

雇用機会の創出に向け
地元企業の経営体力の向上へ

- 問** 雇用政策にかける、市長の決意と具体的な取り組みについて聞きたい。
- 答** 融資や補助金を通じた経営支援のほか、企業間の連携を促し、地域ぐるみでの産業の活性化を進め、雇用の確保につなげていきたい。
- 問** 交流プラザさいわいの改築は、市民活動や福祉分野等の複合型も視野に入れ検討すべきでないか。
- 答** 現施設の機能回復を短期間で行うことが必要と判断し、1階から4階までの耐震改修及び5階と6階の撤去を行うことにした。



釧路市交流プラザさいわい

- 問** 中小企業基本条例制定の基本的な考え方とねらいを聞きたい。
- 答** 産消協働の理念をもって中小企業者を支えるものとしており、短期的な経済対策をもあわせて実施していくことが必要と考えている。
- 問** 戦略的な観光推進体制を確立するため、観光協会の組織統合など一体的な体制構築が図れないか。
- 答** 釧路・阿寒両観光協会の主体性を尊重すべきと認識しており、まずは連携して観光振興に取り組みることが重要と考える。
- 問** 産炭国石炭産業高度化事業への国策の位置づけと、事業継続への取り組みを聞きたい。
- 答** 稼行炭鉱、及び技術開発の研修炭鉱として存続することが国益につながることを国に訴え、事業継続に向け最大限努力したい。
- 問** 市内の医療体制の維持と、市立病院の医師確保への取り組みを聞きたい。
- 答** 大学病院医局からの医師派遣を要請するなど、積極的な医師確保に努め、市立病院を含めた市内の医療体制を維持していきたい。

※ MICEとは、「M」ミーティング（研修）・「I」インセンティブ（企業報奨旅行等）・「C」コンベンション（学術系大会）・「E」エキシビション（展示会）の略で一般の観光客より消費単価が高く、滞在時間が長い人の集合体を指す。

本 会 議

阿寒音別クラブ

鶴間 秀典 議員

ツルビジョンの確立 総合的なツル施策の推進へ

- 問** 今後のタンチョウに関する方向性を定めたツルビジョンの確立について、どう考えているか。
- 答** 新年度に新設する動物園ツル担当を中心に、タンチョウの保護のあり方を含め、総合的なツル施策を推進していきたい。



国の特別天然記念物であるタンチョウ

- 問** 農業が将来的に明るい展望のもと進んでいけるような政策展開が必要でないか。
- 答** 農業のさらなる発展と競争力を高めるために、これまでも草地や排水路の基盤整備に努めてきたが、今後は、経営の効率化や省力化に向けた施設整備等も進めていきたい。
- 問** 23年度の環境基本計画策定にあわせ、地球温暖化対策条例の制定を進めるべきでないか。
- 答** 現時点では、新条例の制定は考えていないが、引き続き他都市の動向等を注視していきたい。
- 問** 北の軽井沢構想について、市長の見解を聞きたい。
- 答** 多様なライフスタイル、阿寒の自然環境、民間による事業の可能性なども考慮し、推進していきたいと考えている。
- 問** 阿寒地区での地域活動支援センターなどの開設に向け、協議検討を進めていけないか。
- 答** 新規開設は難しいが、「日中活動の場の確保」に向けて、地域のニーズを踏まえながら住民団体や関係者とともに検討していきたい。
- 問** 集団資源回収奨励金を、古紙以外の資源物にも拡大するよう検討すべきでないか。
- 答** 資源物売却市況や収集コスト削減の見通しなど、奨励金との費用対効果を多角的に研究していきたい。

くしろ自民クラブ

黒木 満 議員

*定住自立圏構想の実現に向け 周辺町村の意志を確認し検討

- 問** 定住自立圏構想に名乗りを上げるべきでないか。
- 答** 市は定住自立圏構想における中心市の要件を満たしており、周辺町村の意志を十分に確認しながら検討していきたい。
- 問** 財源不足の解消に向けて、どのような施策を考えているか。
- 答** 歳出構造の徹底的な見直し、収納対策の強化などによる歳入の確保に向けて、さらなる取り組みを進めていく。
- 問** 市長の定額給付金に対する評価と国の交付金事業でプレミアム商品券を検討されたか聞きたい。
- 答** 本給付金が、市民の生活支援と地域経済に資することを期待している。また、プレミアム商品券は、商業者がみずから行うものと認識している。



定額給付金申請関係書類

- 問** 市職員による「カイゼン運動」や広告事業について、どのように考えているか。
- 答** 約1,500件に上るカイゼンアイデアの募集結果を全庁的に周知し、活用にあつめたい。広告事業については、範囲の拡大を図っていきたい。
- 問** 釧路をイメージできる地域ブランド戦略を立てるべきでないか。
- 答** 世界に誇れる自然環境を全国に発信するとともに、「くしろ検定」などの取り組みを通して釧路ブランドの確立に向け努めていきたい。
- 問** 市内へのスポーツ合宿誘致の取り組み状況と、今後に向けての展開について聞きたい。
- 答** 最近5年間では、各年度20団体400名ほどが合宿で来釧している。今後の合宿誘致策については、情報収集を行いながら、パンフレット作成等誘致活動を行いたい。

自由新政クラブ

西 直行 議員

住宅の耐震化促進に向け 市制度の周知や普及・啓発へ

問 住宅の耐震化促進に向けての対策について考えを聞きたい。

答 昨年、市が創設した無料耐震診断と耐震改修補助制度により対策を進めており、今後も同制度の周知や普及・啓発を行っていききたい。

問 市有施設における避難施設の耐震化の予定について聞きたい。

答 建築物の経過年次、構造の劣化度、防災拠点施設などの諸条件を考慮し、耐震診断を実施していきたい。



避難施設でもある釧路市民文化会館

問 子供たちの学力向上へ向けて、どのような取り組みを考えているか。

答 各学校での取り組みを支援するとともに、先進的な地域の事例を調査研究し、学力の向上に努めていきたい。

問 社会福祉法人やNPO法人の資金需要にこたえる融資制度をつくれぬか。

答 制度をつくることは、現時点では難しい。道の新たんぼぼ資金がこれらの融資に対応しており、当面は同資金の紹介を行っていききたい。

問 新型インフルエンザが発生した場合、地震などの災害時と同様の対策が必要でないか。

答 現在は、健康被害の面から、対策の準備を進めているが、実際に発生した場合には、災害時と同様の危機管理対策を講じる必要があると考える。

問 中小企業基本条例の果たすべき最も重要な役割について見解を聞きたい。

答 地域の経済主体である企業・市民・行政が、まちへの思いを共有し、地域経済の活性化に向けてともに歩むための基本理念を示すことと考える。

日本共産党議員団

石川 明美 議員

4月からの緊急雇用対策に向け 道と各種事業の開始を協議へ

問 21年4月からの緊急雇用対策が求められている。どのように考えているか。

答 緊急雇用創出事業及びふるさと雇用再生特別基金事業の実施を道と協議中であり、多くの部分を4月から6月にかけて開始していきたい。



雇用対策を担当する商業労政課労政担当

問 2月から始まった緊急雇用対策は、年末年始から行うべきであり、開始が遅れたのではないか。

答 12月の有効求人倍率の低下を受け、事業の前倒しによる緊急雇用対策に踏み切っており、速やかに対応できたと認識している。

問 「顔の見える行政」についての具体的な内容と予算的裏づけを聞きたい。

答 市民との対話は、予算や形式にとらわれずに実施することが可能であり、積極的に各種会合等の場に参加し、実践に努めていきたい。

問 子供たちの経済的条件の悪化が教育上の大きな問題となっている。経済的支援策をどのように考えているか。

答 就学援助や奨学金など、現行の支援制度の周知徹底を図るとともに、各種貸付制度の活用などを助言していきたい。

問 現状の市民生活から、今回の国保料値上げは妥当とは言えず、直ちに引き下げるべきでないか。

答 適正な保険料を設定し、安定かつ健全に運営していくことが重要であり、引き下げにはならない。

問 各地の自治体で据え置きや引き下げが行われている介護保険料を、なぜ201円値上げしたのか。

答 要介護認定者の増や、制度見直しなどにより保険料の大幅な上昇が見込まれたが、65歳以上の被保険者の負担割合変更による増額にとどめている。

予算案などの採決にあたり、2会派が賛否の討論を行いました。要旨は次のとおりです。

日本共産党議員団反対要旨

雇用が見つからない市民への温かい政策が質・量ともに求められているが、来年度予算はこたえきれていない状況である。活力創生釧路市集中改革プランによる民間委託や労働条件の切り下げは、地域経済の疲弊を一層促進する負のスパイラルに陥っている。国民健康保険料の1世帯当たり1万5,152円の値上げ、介護保険料の1カ月201円の値上げは、市民生活を一層苦境に追い込み、保険料の滞納が増加せざるを得ない状況である。そのため、介護保険料を据え置く予算修正案を27年ぶりに提出したが、否決となった。西港の港湾工事は、身の丈に合わない大型事業として、市の財政に穴をあける恐れがある。また、財政運営についても「返す以上に借らない」姿勢を貫いているが、地方債残高の総額が巨額なまま継続されており、過去のハコモノ的財政運営を転換できないままである。憲法改正のための国民投票を行う準備として国民投票投票人名簿調製費が計上されているが、国民的合意が得られていないにもかかわらず、準備を行うことは認められない。耐震診断で使用不可となった交流プラザさいわいの建てかえ問題で市民から意見をくみ上げることが非常に不十分である。以上の理由により反対する。

市民連合議員団賛成要旨

釧路市は、景気の低迷により市税の減収が見込まれ、市税全体では5.5%減となっている。また、財源対策として、水道会計からの借り入れなどが行われている。この厳しい財政運営の中で、医療・福祉・子育ての分野では、ドクターヘリの運航費、妊婦健康診査の拡充、地域子育て支援センターの整備、障がい者の店実験事業の実施、湖畔小学校の屋内体育館の改築等学校整備を推進する予算が盛り込まれている。防災行政無線（固定系）の整備継続、市民文化会館・身体障害者福祉センター・千歳会館の耐震診断など市民の安心安全の分野についても力点が置かれている。新たに音別TMRセンターの整備に着手するとともに、地産地消及び産消協働の観点から、有効利用法を検討する地場農林産物活用事業、未利用・低利用魚有効利用促進事業を実施するなど地域経済の振興に資する施策にも配慮されている。待ち時間の短縮や総合窓口転換へのハード面での整備が実施され、市民サービスの向上が図られると同時に業務効率の向上、電算業務のアウトソーシングなど、行政情報システムの再構築、戸籍情報の電子化などの将来を見据えた事業にも着手している。以上の理由により賛成する。

文学館の早期設置に向け市所蔵文学資料活用会議で協議へ

問 文学館の早期設置に向けた取り組みを進めるべきでないか。

答 釧路の文学団体の活動や貴重な文学資料を、より多くの市民に紹介する機会の拡大に努めながら、既存公共施設等の活用も含め、市所蔵文学資料活用会議の中で文学館について協議を進めたい。

問 民間アパート等の入居条件に町内会加入を明記し、加入者増を図るべきでないか。

答 町内会と市が協働して、アパート等の所有者に対し加入促進の協力を要請していきたい。

問 全国で100を超える自治体が小中一貫教育を推進しており、将来の導入へ研究を進めてはどうか。

答 他都市の実施状況等を調査しながら、メリット、デメリットを含め研究を進めていきたい。

問 副港地区のグランドデザイン策定とあわせて、MOOから西港までの新しい観光ルートをつくってはどうか。

答 このルートは、水産・港湾都市としての重要な幹線になると認識しており、「港の駅」のような施設の整備も含め検討していきたい。

問 湿原の風アリーナ釧路は、附帯設備等の改善が必要でないか。

答 指定管理者や競技団体と協議を重ね、利用者の意見も参考にしながら、利用上の安全確保を最優先とし計画的に適切な措置を講じていく。



大会に利用される湿原の風アリーナ釧路

問 新たな観光振興対策を講じるためにも、民間の観光開発担当者の配置を検討してはどうか。

答 経験豊富な人材の確保は、即効性のある戦力強化策と考えられることから、派遣を含め、どのように民間のノウハウを活用できるか検討したい。

〔市民連 宮田 団議員〕
 放課後児童クラブの開館時間を、利用者負担により、30分延長することはできないか。

〔現状、時間延長は困難であると考えているが、今後、利用者ニーズに近づくための方策について研究していきたい。〕

〔阿音ク 松永証明議員〕

阿寒湖温泉地区住宅分譲地の売却が進んでいないことから、条件を緩和し、一日も早く完売すべきでないか。

〔地元関係者の意見を聞きながら、条件緩和を含め、21年度において分譲促進に向けた研究を進めていきたい。〕

〔共産党 大森昌子議員〕

高齢者の年金支給日に合わせて、買い物バスの運行ができないか。

〔バスなどを利用した特定の商業施設への集客は、事業者みずから取り組むべき問題と考えている。〕

〔市政ク 土岐政人議員〕

地域の歴史に触れる機会をつくるためにも、小中学校に資料を展示するような取り組みができないか。

〔各学校の条件を考慮した上で、どのような形の展示が可能か、関係者と協議をしていきたい。〕

〔公 明 松橋尚文議員〕

市内の除雪に関し、国道、公共交通機関などと意見交換や役割分担を行う場を設けるべきでないか。

〔新年度には、公共交通機関を含めた関係者が一堂に会して協議する場を設け、除雪に対する相互理解を深めていきたい。〕

〔自新ク 戸田 悟議員〕

マツカワ増殖事業について、道東における放流尾数の増大を図り、資源管理型漁業として確立すべきでないか。

〔えりも以東栽培漁業推進協議会で、マツカワを広域魚種として選定していただき、事業が継続されるよう関係機関等へ働きかけていきたい。〕

〔くしろ 笠井龍司議員〕

旧旭小学校跡地の売却について、用途地域の変更など、条件を緩和すべきでないか。

〔どのような土地利用条件が、中心市街地活性化や居住促進に結びつくのかを、用途地域の変更も含め、さまざま

な角度から検討していきたい。



旧旭小学校跡地

〔無所属 草島守之議員〕

市の耐震改修補助制度に関して、補助額を引き上げるなど、内容を充実すべきでないか。

〔本制度は、国や道の補助枠活用により創設しているため、今後、国や道の制度改正などを見きわめていきたい。〕

〔くしろ 菅野 猛議員〕

市政を進める上で、合併後の一体感の醸成が今後重要であると感じるが、どう取り組んでいくのか。

〔総合計画の着実な推進を図りながら、さらなる一体感の醸成につながるよう、努めていきたい。〕

〔阿音ク 本城 洋議員〕

清涼で良質な音別の水を、市の災害時の非常用備蓄飲料水などに活用できないか。

〔PRも含めた水道水の活用方法や製造コストなどについて十分調査し、可能性を検討していきたい。〕

〔共産党 村上和繁議員〕

21年度の市政運営のテーマを雇用、生活防衛とし、全職員が共通して取り組むべきでないか。

〔市民生活の向上を判断基準とし、雇用をしっかりと守るためにさまざまな施策を連携させて進めていきたい。〕

〔公 明 逢坂和子議員〕

市立釧路総合病院の女性専門相談窓口の充実を図るべきでないか。

〔より多くの方に利用していただけるよう積極的にPRを行うとともに、担当看護師の資質向上に努めていきたい。〕

〔阿音ク 曾我部元親議員〕

新年度、釧路地区から阿寒高校への通学生の増加が見込まれるが、朝の通学バスを増便できないか。

〔生徒の乗車箇所の特定期間必要となることから、市、高

校並びにバス事業者間で調整・協議を進めたい。〕

〔くしろ 高橋一彦議員〕

「ふるさと納税」は、市の増収が見込まれるため、PRに努めるなど、力を入れて取り組むべきでないか。

〔他都市の取り組み状況も参考にしながら、より効果的な受け入れ方法やPRなどについて検討していきたい。〕

〔共産党 梅津則行議員〕

釧路地区のコミュニティセンター図書室を、図書館の分館機能として、充実すべきでないか。

〔図書館基本計画の策定や関係部署間の協議の中で、検討を行っていきたい。〕



分館機能が求められたコミセン図書室

建設常任委員会

新川橋の使用継続に向け引き続き国と協議

河川管理者である国から撤去または、かけかえを求められている新川橋について、耐荷力や余寿命等の構造診断結果が良好であったことにより、今後も同橋を使用できるのかとの質問がありました。



利用度の高い新川橋

理事者は、国は河川管理施設等構造令に合致しない橋であるため、今後も撤去または同構造令を満たす規格でのかけかえを求めている。しかし、同橋は利用度が高く、撤去となれば市民生活に影響がでる

ことへの理解もしている。このため、次回の協議までに、市が考えているかけかえに当たつての今後の方針と、今回の構造診断に基づく補修計画を示すよう指摘があったと答えました。

総務文教常任委員会

22年1月の冬季国体釧路市で開会式を開催

第65回国民体育大会冬季大会の開場が正式に当市と札幌市で決定されたことを受け、開会式の会場と当市をイメージできるネーミングについての質問がありました。



競技会場となる釧路アイスアリーナ

理事者は、開会式は、当市で開催となり、大会期間は22

年1月27日から31日までの5日間で、市内5施設を会場に、スピードスケートやアイスホッケーなど4種類のスケート競技が行われる。また、ネーミングについては、4月8日に予定されている釧路市実行委員会設立総会で意見を伺い、北海道実行委員会設立総会において、考え方を伝えていきたいと答えました。

石炭対策特別委員会

冬季国体に基金活用

MICEで地域振興目指す
釧路産炭地域総合発展基金
旧基金分の活用は、基盤整備事業により、疲弊した地域の活性化を目的としているが、来年1月に当市で開催される第65回国民体育大会冬季大会・スケートアイスホッケー競技会に活用することは、この目的と合致するものであるのかとの質問がありました。

理事者は、旧基金分については、地域振興上必要な事業の財源として活用することを基本とし、事業の選定を行っている。国体の開催は、MICE事業の一環としてとらえた場合、地域振興への波及効

果が大きいとの判断により、活用することになったと答えました。

民生福祉常任委員会

ドクターヘリ配備決定
運航体制の確立を

釧路・根室圏に配備決定となつたドクターヘリに関して、今後の運航内容やスタッフの体制についての質問がありました。



釧路・根室圏に配備決定されたドクターヘリ

理事者は、北海道、釧路・根室管内の市町村、医師会を含めた協力病院、消防機関等で「ドクターヘリ運航調整委員会」を構成しており、詳細な運航内容についてはこれからの検討になる。ドクターヘ

りに搭乗を予定するスタッフは、現在、医師7名、看護師5名を確保しているが、今後も運航開始までに管内の協力病院に対して、医師、看護師の派遣を要請し、速やかな運航体制の確立に努めていきたいと答えました。

財政経済常任委員会

地方債残高減少に向け返す以上に借らない原則で

返す以上に借らない方針は貫徹しているが、経常収支比率も悪くなっている。地方債残高の全体を減らすことを考えるならば、普通債の発行上限を検討すべきでないかとの質問がありました。

市長は、地方債残高に含まれている臨時財政対策債は、地方交付税と理解しており、起債残高は減っている。普通債の発行に上限を設けることは、大型事業等がある場合、その他の事業に影響が出ることを考えられる。必要な事業を実施することも大事であり、返す以上に借らない原則のもと、全体のバランスの中で計画的に事業を実施していききたいと答えました。

平成21年第1回2月定例会審議結果

○賛成 ×反対

件名	会派名 または 無所属議員名 ()は議員数	市民連合議員団	公明党議員団	くしろ自民クラブ	日本共産党議員団	自由新政クラブ	阿寒音別クラブ	市政クラブ	藤原厚議員	草島守之議員	審議結果
		(6)	(5)	(5)	(4)	(4)	(4)	(2)	(1)	(1)	
市長提出議案											
予算	21年度予算 国民健康保険音別診療所事業特別会計(357,553千円)／老人保健特別会計 (38,321千円)／動物園事業特別会計 (338,702千円)／水道事業会計／工業用水道事業会計／公設地方卸売市場事業会計／市設魚揚場事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計 (96,250,000千円)／国民健康保険特別会計 (19,403,492千円)／後期高齢者医療特別会計 (1,782,487千円)／介護保険特別会計 (10,350,590千円)／駐車場事業特別会計(180,644千円)／病院事業会計／下水道事業会計／港湾整備事業会計	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	21年度補正予算 一般会計 (40,801千円、総額96,290,801千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	20年度補正予算 一般会計 (3,166,328千円、総額105,004,253千円)／国民健康保険特別会計(25,416千円、総額19,427,468千円)／介護保険特別会計 (86,970千円、総額10,135,887千円)／病院事業会計／水道事業会計／下水道事業会計／港湾整備事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計 (1,477,214千円、総額101,837,925千円)／後期高齢者医療特別会計 (10,326千円、総額1,833,584千円)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
条例	制定条例 介護従事者処遇改善臨時特例基金条例／中小企業基本条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一部改正条例 特別職の職員の給与に関する条例等の特例に関する条例／基金条例 (20年度施行分)／基金条例 (21年度施行分)／乳幼児等医療費助成条例等／国民健康保険条例／児童館条例／療育センター条例／老人憩の家条例／音別町福祉保健センター条例及び阿寒町保健・福祉サービス複合施設条例／高齢者生きがい交流プラザ条例／病院事業の設置等に関する条例／中小企業振興条例／公設地方卸売市場業務規程／公営企業の設置等に関する条例／音別町社会体育施設条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	職員定数条例／保育に関する条例／介護保険条例／港湾施設管理条例／市立高等学校の授業料等に関する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	廃止条例 統計条例／阿寒湖畔歯科診療所及び阿寒歯科診療所条例／音別歯科診療所条例／厚生年金体育館条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件 (稲澤優氏、岩橋尊和氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
その他	土地処分件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
専決処分	20年度補正予算 一般会計 (669,034千円、総額100,075,711千円)／一般会計 (135,000千円、総額100,210,711千円)／一般会計 (150,000千円、総額100,360,711千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議員提出議案											
条例	制定条例 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書	医療提供体制の拡充に関する意見書／肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書／中山間地域等直接支払い交付金制度の継続に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	北海道の自衛隊体制維持を求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	不況下における緊急雇用対策の強化を求める意見書／季節労働者対策の強化を求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	×	可決
	保育制度のあり方に関する意見書	○	×	×	○	○	○	○	○	×	可決
	障がい者福祉制度の充実に関する意見書	○	○	×	○	○	×	×	×	×	可決
請願・陳情 (継続審査中で引き続き「継続審査」となったものは除く)											
請願	中山間地域等直接支払い交付金制度の継続に関する意見書の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情	国の季節労働者対策の強化を求める意見書の件	○	○	×	○	○	○	○	○	×	採択
	国民健康保険料の値上げ中止を求める件										
	後期高齢者への資格証明書発行に関する意見書の件	×	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択
	第4期介護保険料を現行に据え置くことを求める件										
議会に報告されたもの											
市長提出	平成20年事務報告書提出の件／釧路市国民保護計画変更報告の件／平成19年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書提出の件 専決処分報告の件 (交通事故損害賠償額の決定等)										完了
監査委員提出	監査報告書／例月現金出納検査報告書 (10～12月分)										完了

※ 現在、無所属議員は3名であるが、二瓶議長は採決に加わっていないため、2名の氏名のみ記載している。



◎曾我部元親◎宮田 団 菅野
松橋 尚文 土岐 政人 畑中 優周
村上 和繁 (◎委員長 ◎副委員長)

議会広報特別委員会から

現構成委員としては、最後の「議会だより」となりました。市民の皆さまのご愛読に感謝いたします。

会派名の変更

4月2日付で、くしろ自民クラブ会長黒木満議員から、会派名称変更届が提出され、新名称は「清風会」となりました。

会派の離脱

2月12日付で、くしろ自民クラブ会長黒木満議員から、草島守之議員の会派離脱届が提出されました。